

産業振興ビジョン年次報告 平成30年度実績に係る意見書 推進委員とりまとめ

評価基準

5	<ul style="list-style-type: none"> 目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性がない。 非常に効果が高く、継続することに何の問題もない事業である。
4	<ul style="list-style-type: none"> 目的達成のための事業が、十分実施されており、改善の必要性が低い。 効果が高く、継続すべき事業である。
3 標準	<ul style="list-style-type: none"> 目的達成のための事業が、実施されている。 効果があり、継続した方が良い事業である。
2	<ul style="list-style-type: none"> 目的達成のための事業が不十分であり、拡大が必要である。 効果を高めるための工夫が必要な事業である。
1	<ul style="list-style-type: none"> 目的達成のため、事業の再検討が必要である。 効果があまり見込めないため、整理統合・規模縮小・廃止等の検討が必要である。

番号	氏名	備考
1	小川 加苗	富里市商工会
2	秋元 和子	富里市農業協同組合
3	寒郡 茂樹	富里市商工会
4	根本 実	富里市農業協同組合
5	飯寄 富雄	有限会社東洋スチール
6	吉田 武重	公募
7	原 幸司	富里市観光協会
8	飛ヶ谷祐示子	まちづくりコーディネーター
9	高森 茂人	千葉県商工労働部経済政策課
10	布川 好夫	富里市議会 総務建設常任委員会
11	中山 健	横浜市立大学国際総合科学部国際 マネジメント研究科

基本戦略1 農業の振興

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
(1) 農業の振興						
①経営の安定化支援	3.45	2	1	8		
②担い手の育成・支援	3.18		2	9		
③農地の有効活用	3.00	1	2	4	4	

基本戦略1 農業の振興への意見や改善策

- ①農業の安定化、農業生産技術の向上を図るため、必要な「施設整備」や「省力機械の導入を促進する各種支援事業」には同感。
- ①農業経営の安定化については、平成29年度以前のデータや情報を持ち合わせていないので、評価が難しいが年次報告書と農業関係者からの声を聞く限り、行政や農協の支援を受けながら自助努力を怠らない農業従事者については、概ね安定した経営が図れていると思われます。講習会や研修会の成果が図りにくいことは予測できるが、この成果を図る検討を行うことが今後の農業振興に大きく寄与する要因となると感じる。
- ①農業は富里市の基盤産業でもあり、安定化支援は重要な施策として位置づけられ様々な具体策が実施されている。今後も安定化支援の推進・強化を継続されることを期待したい。
- ①外国人技能実習制度については、公共性を持った事業体にて推進していただきたい。
- ②担い手の育成・支援問題は、農業後継者の拡充には重要な事項。提案：新規就農者への割安な住宅の提供など予算化していく。
- ②新規就農者と農業後継者を育成・確保するために、集落農営の推進や農業技術の習得支援は重要な支援であると思います。しかし、一般的な会社員や商工業者と比較すると、農業従事者の多くは他業種従事者との接点が比較的小さいと思われるため、特に新規就農者を増やすという視点では、他業種就業者との接点を創出する機会が増えると良いのではないかと思います。
- ②新規農業者を増やすことについては、さらなる広報活動を行うべきだと思う。また、新規農業者に対する支援制度も設けるべきではないか。
- ③特に高齢化に伴う就農者の減少は急速なスピードで拡大化している。それに伴い耕作放棄地の増加が憂慮される。放棄地の集約化と利用の集積化が急がれる。
- ③道路沿いが運送会社の駐車場になっている。ソーラー事業になっている。
- ③今後ますます増える、耕作放棄地の再利用対策事業の充実に努めていただきたい。
- ③耕作放棄地の増加が顕著であると考えます。

基本戦略2 商工業の振興

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
商工業の振興						
①支援連携による情報発信	3.36	1	3	6	1	
②円滑な事業承継の促進	2.91		2	6	3	
③経営の安定化の促進	3.09		3	6	2	
④企業誘致の推進	3.18	2	2	4	2	1
⑤商工業の活性化	2.64		1	6	3	1
⑥雇用機会の確保	2.64		1	6	3	1

基本戦略2 商工業の振興への意見や改善策

- ①事業者が国・県をはじめ各支援機関の相談窓口や支援策を効率よく活用できるように、整理、情報発信することは大変重要であり同感。
- ①商工業の振興へ向けた商工会との連携はうまくいっており、またホームページの充実も図られている。今後も商工会と相互補完しながら中小企業支援に取り組むことに加えてITやSNSをさらに活用することによって市内商工業が発展することを期待したい。
- ②事業継承に関して各種支援事業の周知セミナー等は、参加者から好評でした。今後も継続すべき事業です。
- ③特に生産性向上特措法による支援、中でも設備投資を促進するため、市税条例の改正で固定資産税の3か年免除は賛同大。または、期間経過後の免除継続は適格な判断を実施していくことが必要。
- ③中小企業資金融資制度の周知を行い、活用を促進しています。
- ④成田空港の隣接する富里市は、都心へのアクセスがよく成田空港の機能強化を見込んで企業から問い合わせが予想される。受け皿の推進を図って頂きたい。
- ④工業団地内企業立地率は100%を達成している。
- ①国・県からの情報について周知と充実を図り、さらに発信できるように努めていただきたい。
- ①目的・事業内容に沿って、情報収集や情報提供が図られている。なお、30年度の実施状況が、生産性向上特別措置法に係る市税条例の改正や先端設備導入計画の認定件数となっており事業内容と実施状況が合致していないように思われる。
- ①商工業支援は、富里市独自の施策を行うことも大事なことではあるが、経済産業省、千葉県商工労働部、千葉県産業振興センター、商工会等との連携を密にし、商工業者に対してワンストップで情報提供できる体制を整えることが非常に有効的であると考えます。
- ②倒産件数は減少しているものの、企業経営者は高齢化し、休廃業、解散企業数は過去最多。本県の廃業率は全国4位。個人的思慮で左右される問題だけに自分としても妙案に乏しい。
- ②事業継承セミナーに5名が参加したが、セミナーの評価は必ずしも高いものではないと受講者からの声があった。事業継承については喫緊の課題ではあるものの事業主自身がそれに気付いていない又はどうにかなると考えている事が大きな課題である。事業継承したくなる魅力ある企業に成長させることが事業継承の第一歩であると考えられます。
- ②セミナーの開催と情報収集にとどまっているため、さらに、踏み込んだ支援を図ることが望まれる。
- ②富里の現状を考えると、事業承継ができていない個人事業者は事業所の半数を超えていると考えられる。現状を放置すれば事業を廃止する事業所がますます増える一方であるが、事業者は事業の承継を意識せず働いている方々も多い。それぞれの事業が社会には有意義であるものと理解していただき、事業承継を積極的に行うような支援が必要である。公共的な事業承継支援団体のみならず、金融機関等とも連携して行っていただきたい。
- ③中小企業は資金調達が円滑に実施されている状況であると感じています。しかし、小規模事業者に関してはその事業主の知識や事務に費やす時間の不足も伴い、相変わらず資金繰りに苦慮する状況が散見される。商工会との連携をより密なものとして、特に小規模事業者への資金調達を円滑なものとするべく支援が必要であると思われれます。より重要なことは、借入の条件よりも借りられることです。

- ③市内で事業を営む中小企業や小規模事業者向けに低利融資や利子補給を行っており、経営の安定化に寄与していると思われる。事業内容にある、販路の拡大、人材育成、創業などの取組への支援策が特段講じられていないため、今後は、これらの取組を充実させることにより、中小企業の一層の経営安定化につなげることが望まれる。
- ③富里市の融資制度の予算を増やしていただくことも大事だと思われるが、商工業に対する補助金等の情報を容易に受けられるような、支援体制を構築していただきたい。
- ④大企業だけでなく、中小規模企業の工業団地への企業立地の拡大を強める。または、工業団地や企業立地促進条例の期限が令和2年3月31日で終了するが延長の必要はないのか。判断時期近し（自分の情報不足で既に対応済かも）。
- ④調整区域がネック。道路が狭い。渋滞する。
- ④工業団地内の企業立地率はいずれも100%となっており、奨励金の交付がこれを後押ししたものと推測される。なお、今後の立地ニーズに応じていくためには、新たな産業用地を確保していくことが求められるところ、県では、平成30年度末に、県・市・民間の役割分担による新たな産業用地の確保策を策定したところであり、必要に応じて、同スキームの活用についても御検討いただきたい。
- ④雇用機会の確保につながることで、積極的に推進が必要と思います。
- ④成田空港の機能強化が決定され、千葉県主導の空港周辺の地域づくりも本格化していく状況の中で、土地利用も含めた一体的な企業誘致を、富里市を上げて行うべきであるとする。企業誘致を担当する専門セクションも設けるべきではないか。
- ⑤補助金の縮小に伴い事業が縮小し、事業主体のメンバーはボランティアであることも相成り、そのモチベーションも低下するという負のスパイラルに入っている。抜本的な改革が必要であると思われる。
- ⑤目的や事業内容に沿った補助金の交付等の支援が行われているが、補助事業の内容が記載されていないため、事業効果については評価できない。
- ⑤商工業の活性化は、既存団体に対する支援は必要であるとする。しかし、空港関連産業の進出を考えれば、土地利用の緩和が最大の活性化になると思っていただきたい。
- ⑥雇用機会の確保といえば、何と言っても差別なく快適に働くことが出来ることが肝要。特に小規模企業にも保育所、育児所が自由に活用出来る就業環境づくりは喫緊の課題であり、雇用機会の確保の最重要な支援となる。
- ⑥人が集まらない。
- ⑥セミナー等を開催しているが、参加者が市内企業に就職できているのか否かのデータを確認したい。
- ⑥空港関連会社等に対して、富里市への企業誘致を積極的に進める。
- ⑥戦略に掲げる目的や事業内容に沿った形で様々な事業が実施されており、今後もさらなる拡充が図られることが期待される。なお、当該事業実施後に、実際の就労に結びついた実績等が記載されていないため、直接的な事業効果については評価できない。
- ⑥人材確保には課題を持っているところも多いと感じる。
- ⑥雇用機会の確保はもう必要でないと思われる。現状で雇用者が足りない状況が続いているので、雇用者を確保するためにはどうすべきかを模索するべきではないか。外国人労働者、若年世帯用の居住可能地域の増設、周辺地域とのアクセスの利便性の強化、等になっていくのではないか。

基本戦略3 人材の確保と育成

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
人材の育成と確保						
①新規就業者の確保、人材育成	2.82		2	6	2	1
②農業体験の促進	3.55	2	3	5	1	
③職場体験学習の促進	3.64	1	6	3	1	
④民間との連携による雇用促進	2.73		1	6	4	

基本戦略3 人材の確保と育成への意見や改善策

- ②スイカオーナー制度は、一般市民にも農業への興味を持たせるのに良い制度だと賛同します。特に応募者が募集人数を大幅にオーバーしており、今後は継続的な取組みを希望。
- ②スイカオーナー制度は、応募者数578人に対して募集人数80人と大成功の事業ですが、農協や生産者の皆さんにご協力をいただき拡充されてはいかがでしょうか。
- ②スイカオーナー制度に関して募集人数80人のところ、578人もの応募者を得ている人気の制度となっている。今後も是非推進してもらいたい。
- ③中学生の職場体験をやっています。
- ③小中学生の職場体験は大変貴重な経験になります。今後も地域の多くの事業者様の協力をお願いし継続して頂きたい。
- ③市内では、職場体験の受入事業所も多数あり、年間700名超の児童・生徒が市内で職場体験を行っているなど、市内企業の魅力発信や、就労促進につながる取組が実施されている。
- ③職場体験学習は有効的であると考えます。
- ④高齢者雇用の促進に向けた企業（セブン・イレブン・ジャパン）との連携が図られている。
- ①人手不足の昨今、新規就業者の確保は非常に難しい。県から市、市から事業者間の連携と支援体制は一刻も目を離せない状況にあり、示されている現在の諸政策の強力な推進が肝要
- ①実施事業の検証が必要（実施事業への参加者数で事業を評価することはできないため）
- ①市内産業に関心を持ってもらうための環境づくりという本項目の目的に沿って、各種イベントやセミナーが多数実施されており、情報発信のツールや頻度としては十分であり、参加実績も一定程度確保されている。その後の実際の新規就農や新規就業に至ったのかが読み取れないため、記載されている内容からは、直接的な事業効果を測ることは難しい。
- ①新規就農へ向けたセミナーやイベント、相談会が適切に実施されている。人材育成に関しては、外国人への依存度が高くなることが予想されるため、外国人労働者雇用に関するセミナーや相談会を今後増やす必要がある。
- ①効果が出るよう工夫を。
- ①雇用機会で述べたことと重複。
- ②休耕地の有効利用として、市民農園やシェア畑の検討
 - ・耕作放棄地となることを防ぐ
 - ・市外の人が富里に足を運び、富里の魅力を感じてもらえる
 - ・現役を退いた農家の高齢者の方を「農家先生」として作物の育て方や管理の一部を担ってもらう
 ⇒高齢者のやりがいにもつながる。
- ②農業体験の促進よりも、新規営農するための支援やサポート体制の充実を考えるべきではないか。スイカオーナー制度は観光施策と位置付けるべきではないか。
- ③実施者（市・商工会・事業者）は、やる気満々に感じられるが、職場体験の実施等は、後々のフォローが重要。単に「やりました」では、人材の確保育成は難しい。
- ③小中学生の職場体験については、小中学生や保護者からも高く評価する声を聞くことが多い。農家への参加者が0であったことは残念であるが、今後は受け入れ方を検討し、従来の農業のイメージを変えていく必要があると思われます。

- ③市内の事業の魅力を感じて、将来の進路の一つと思ってもらえると良い。30年度、農家の受入が0人だったのは残念。募集をどのようにかけたかは、わからないが、他業種と違い、「農業」というだけでは、何をするのか解りにくい。もし、内容が書かれていないのであれば、簡単に書いてみてはどうか。
- ③小中学生を対象に職場体験を実施、小学生333人、中学生400人を受け入れた。農業体験が0人であったのは残念である。
- ④特に外国人技能実習制度についての研修会は、日本語の語学や日本的習慣等、本来の技能実習まで行きつくまでは、非常に困難なプロセスが待っている。市・商工会・事業者ともに、もう少し踏み込んだ取組みが必要。
- ④協定を締結している民間企業と高齢者の雇用促進を目指して説明会を実施するなど、民間と連携した取組は講じられているが、掲載されている内容からは、実際の雇用に繋がっているのか等が読み取れないため、事業効果を測ることが難しい。
- ④農家と農業をやりたい人とのマッチングを過去に行ったことがあり、数人が就農した。人材確保したい市内企業を対象とした合同説明会が効果的ではないか。
- ④民間との連携は、さらに行っていただきたいが、雇用促進ではもうないのではないか。現状を把握し、現状にあった施策を行うためにもPDCAで検証していくことは重要である。

基本戦略4 推進体制の構築

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
推進体制の構築						
①連携による推進体制の構築	3.18		3	7	1	

基本戦略4 推進体制の構築への意見や改善策

- ①「ドローンの農業利用とICT」をはじめ、最新技術や災害等に対する対策などの講習会や研修会は、タイムリーに実施されて良かったと思う。
- ①様々な団体と連携し、講習会や研修会、セミナーなど、様々な場において、情報発信や共有が図られている。
- ①さらなる活用を推進していただきたい。
- ①最新技術や災害対策の講習会が適切に開催されている。昨今の風水害等の災害頻発を鑑み、今後は災害対策講習をさらに強化することが必要であろう。また、農商工連携による富里ブランド商品の共同開発が数件実施され、将来事業化されることに期待したい。

基本戦略5 成田国際空港との共生・共栄

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
成田国際空港との共生・共栄						
①成田空港周辺自治体との連携による地域活性化策の検討	3.00		2	7	2	
②空港周辺地域との広域的連携	2.82		1	7	3	

基本戦略5 成田国際空港との共生・共栄への意見や改善策

- ①②成田空港圏の振興に係わる事業には積極的に参加し、当市の特色をアピールし、拡大していくことは適切な事業と思う（各種空港イベントへの参加）。
- ①空港との連携や空港での出店は地域活性化にとって大きなチャンスであり期待したい。
- ①②千葉県総合企画部は、空港圏として土地利用の柔軟化を目指した特区を、内閣府に申請すると聞いている。さらなる協調をお願いしたい。
- ①何が共生共栄に繋がるのか検討が必要であると思われる。
- ①成田空港のイベントに出店してはいるものの、PRの内容が記載されておらず、質・量ともに十分であるかの判断が難しい。また、地域活性化策等の検討に係る具体的な取組が（記載上は）見られない。
- ①継続した市のPRを行ってほしい。
- ②周辺市町と環境の違いがあるが、共通点を見出し、積極的に取り組む。
- ②主な取組が、空港周辺地域で開催された会議への出席にとどまっており、広域的な連携による具体的な振興策の実行には至っていないため、今後の取組に期待したい。

基本戦略6 地域資源の活用

	推進委員 平均値	5	4	3	2	1
地域資源の活用						
①富里の歴史と地場産業の活用	3.27		4	6	1	
②6次産業化の支援	2.91		2	7	1	1
③農商工連携による支援	3.18		3	7	1	
④創業支援	3.09		3	6	2	

基本戦略6 地域資源の活用への意見や改善策

- ①富里市は、すいか・馬・にんじん等を資源として様々な取組を実施しており一定の成果が出ているものと思われます。
- ①地域資源は地域の振興と発展に重要であり、観光振興にも有益である。すいか、にんじん、馬、歴史遺産を活用して地域イメージ向上をさらに推進してもらいたい。
- ①さらなる活用を推進していただきたい。
- ③富里は、歴史的に農商工連携を実践してきていると思っている。
- ④創業支援セミナー参加者からは好評と聞いており、今後も継続をお願いいたします。
- ④創業セミナーの実施や、市内の創業者に対する優遇措置などが講じられており、創業者の創出につながる具体的な支援が実施されている。なお、受講者数11名に対し、証明発行件数（修了者？）が2件にとどまっているので、さらにその数が増加するよう取り組んでいただきたい。
- ④創業支援セミナーを4週連続で実施している点は評価できる。
- ①特にスイカオーナー制度の拡充化が望まれる。600人近い応募者の中から80人の募集は少ない。受入れ人数を増加（予算化）し、地場産業の拡充、活用の強化が望まれる。
- ①市で地域資源と捉えている農産物や馬、豊かな自然について、市内外のイベント等で周知を行っているが、目的である「新たな産業の創出」に至っているかは（資料からは）確認できない。「新たな産業の創出を目指す」という目的に対し、「農産物や産業に関わる情報提供」という事業内容では、不十分であるように思われ、産業創出に結びつくような実効性のある取組があってもいいように感じる。
- ②農業者または商業者が生産のみならず、加工、販売まで行うことで商品への付加価値増強は、所得向上への有力な事業となる。強力な推進策（セミナーの開催、各種補助金等）の支援が期待される。
- ②個人的なことで恐縮ですが、私が代表を務める会社も6次産業化の認定を受けている。私以外にも、認定を受けた事業所が富里には何社か存在すると思われるが、支援を受けていると感じていない。少しアプローチがあっても良いのではないか。
- ③農商工連携によるそれぞれの特色を生かした、新たな商品開発や研究開発した商品の創出は、今後の本市の将来を占う大切な事業となる。セミナーや各種支援事業など県との連携強化を望む。
- ③市では農産物を地域資源と捉え、積極的にPR・活用していくのであれば、セミナーや情報提供だけではなく、さらに踏み込んだ市としての主体的な施策の展開が望ましい（市のイベント等でのPRなど、販路拡大への後押しなど）。
- ④創業者は、将来への期待と不安が交錯する人が多いはずです。特に「特定創業支援等事業」の修了者としての認定で各種特典を受けることが出来るよう「努める」のではなく、実質的支援の提供を速やかにすべき。
- ④セミナーを実施する事業内容であったが、セミナーの内容について参加者からの感想を鑑みると、その内容について検討が必要であると思われる。
- ④企業誘致と連動した創業支援を模索していただきたい。